

環境先進都市に向けた4つのモデルエリアでの実践

市全域で施策を進める中で、特に4つのエリアについてはモデルエリアに位置づけ、ビジョンの具現化を図り、「環境先進都市・大阪」の未来像を示していく。

森之宮地区 - 資源・エネルギー循環型まちづくり -

森之宮地区は、低炭素社会の実現に向けた最先端のまちづくりをめざすモデル地区として、森之宮ごみ焼却工場の廃熱や中浜下水処理場からの消化ガスを一層活用し、エリア全体でエネルギー効率の高い環境に配慮したまちづくりを行うとともに、「ごみ焼却工場や下水処理場と共存する都市生活が実現できるまち」として「森之宮モデル」の国際展開を図る。

【具体的な取組み】

- ・ごみ焼却工場で発生するエネルギー（熱、電気）を周辺に供給するとともに、下水処理場で汚泥を処理する際に発生する消化ガスの有効利用の検討・生ごみのバイオガス化実験に取り組む
- ・クリーンエネルギーと太陽光発電などを組み合わせたスマートエネルギーネットワークによる、地区内でのエネルギーの最適利用の検討
- ・環境配慮型住宅への更新の検討
- ・クリーンエネルギーを有効活用する都市型産業の誘致に係る検討
- ・エリア全体での省エネ・省CO₂等の環境配慮への取組みの“見える化”についての検討

森之宮地区の資源・エネルギー循環型まちづくり構想（案）

地域に開かれ調和したごみ焼却工場
～地域のエネルギーセンター～



緑化による周辺地域への配慮と調和
（出典：大阪市環境局 東淀工場）

エネルギーコントロールセンター

- ・地域内のエネルギー需給を把握し、最適なエネルギー制御を図る



（出典：横浜ビジネスパーク熱供給）



市有地に新たに誘致する施設

- ・地域内の資源・エネルギーを有効活用する施設を誘致
- ・緑地や広場配置等の環境配慮を検討



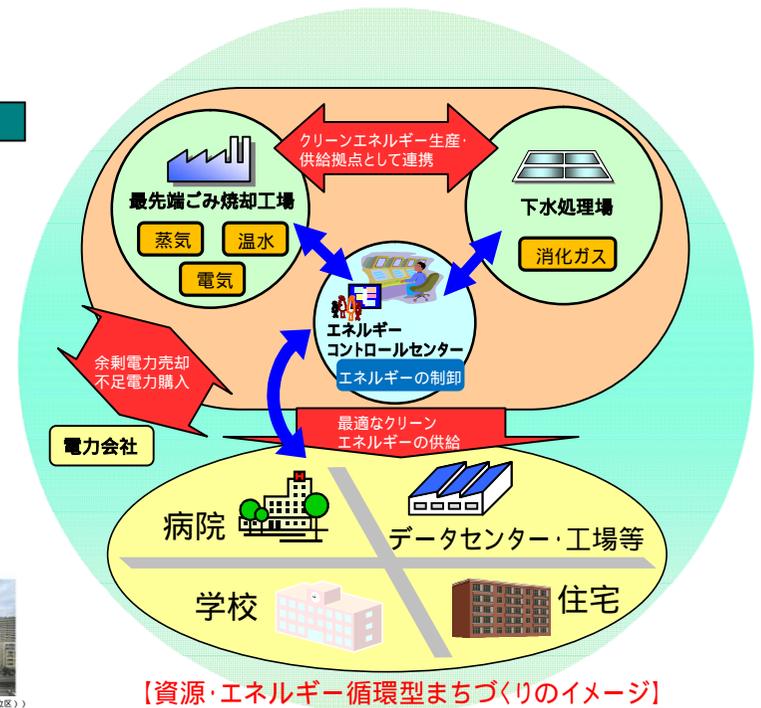
出典：東和薬品(株)新山形工場

環境配慮型住宅の検討

環境に配慮した住宅のイメージ



（出典：UR都市機構ハートアイランド新田（東京都足立区））



【資源・エネルギー循環型まちづくりのイメージ】

環境先進都市に向けた4つのモデルエリアでの実践

うめきた(大阪駅北地区)

- 環境をテーマとしたナレッジ・キャピタルとまちづくり -

うめきた(大阪駅北地区)は1日250万人が乗降する西日本最大のターミナルである立地特性を活かし、水都大阪を象徴する水と多様な緑のネットワークと先進の技術を取り入れ、大阪の顔となる都市環境を創出する。地区の中核機能として新たな環境ビジネスが創出されるナレッジ・キャピタルの実現など、「環境」をテーマとしたまちづくりを進める。

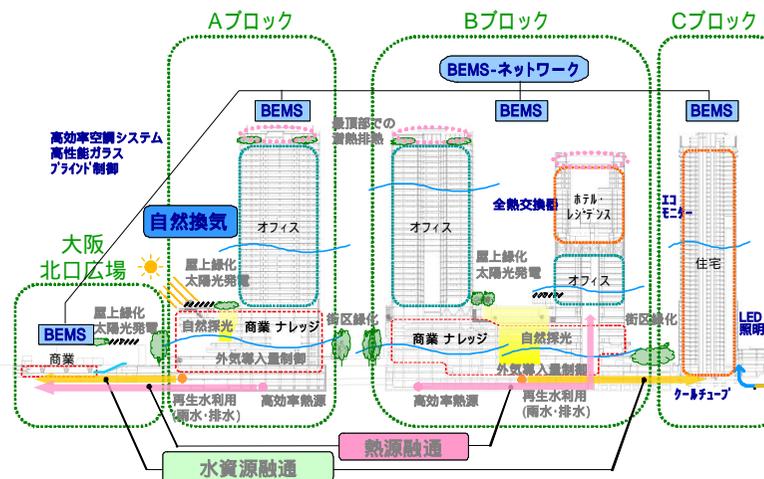
【具体的な取組み】

- ・雨水等の中水道としての再生利用、エネルギーマネジメントなどによる省エネルギー化、太陽光発電による新エネルギーの活用、屋上緑化によるヒートアイランド対策など、省CO2の推進
- ・地域の交通環境負荷の低減のため、フリンジパーキング(都心外縁部に設ける都心アクセス用駐車場)、大阪駅周辺の循環バスなどによる交通需要マネジメントの検討
- ・ナレッジ・キャピタルにおいて、環境・エネルギー分野における新製品・新ビジネス創出のためのシステム・ネットワークの構築や環境技術の国際標準化機能の形成
- ・2期開発では環境分野の研究開発や実証・展示を通じて、環境ビジネス創出や人材育成などの機能を持つ「環境ナレッジ」と「実証フィールド」を形成
- ・地区の環境に関する情報(技術のしくみやCO₂削減等の改善効果など)の「見える化」と、国内外からの視察や学校・団体等の環境学習(エコツアー)の企画検討

先行開発 (建築計画)



先行開発 (実効性の高い省CO2技術)



全体計画



環境先進都市に向けた4つのモデルエリアでの実践

中之島地区

- 河川水のエネルギーや緑を活かした水都再生のまちづくり -

周囲を川に囲まれた中之島地区では、水・緑等の自然を有する特性を活かし、遊歩道の整備などを進めるとともに、地区内の主な企業により、低炭素化、クールシティなど環境に配慮したまちづくりが進められている。今後も企業と連携し「環境先進都市大阪」のモデルエリアにふさわしい取組みを進め、先進的なまちづくりの情報を発信していく。

【具体的な取組み】

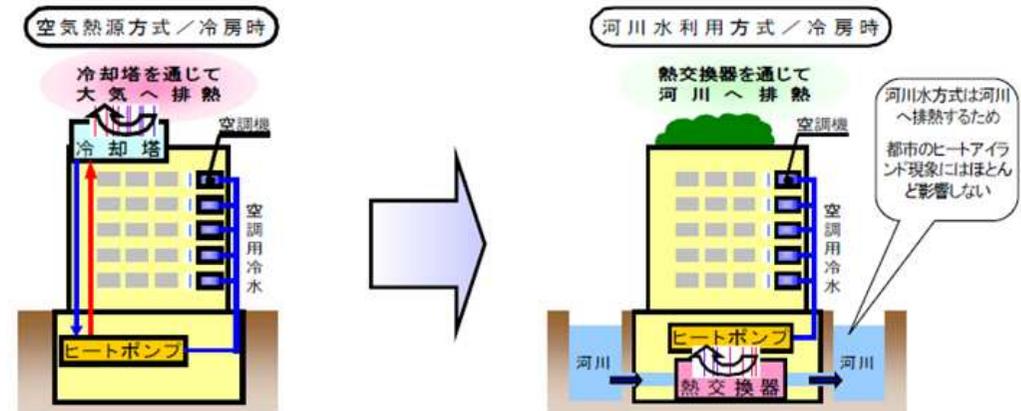
- ・河川水の温度差エネルギーを利用した地域冷暖房や太陽光発電など未利用エネルギーの活用の促進
- ・水辺を活かした護岸緑化や建築物の屋上・壁面緑化
- ・BEMS*、AEMS**など先進環境技術やその運営システムの先導的導入の促進
- ・打ち水、ライトダウンなど官民協働による取組み
- ・環境先進事例の積極的な情報発信

* BEMS : ビル・エネルギー・マネジメント・システムの略で、ビルの設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減を図るためのシステムのこと。

** AEMS : エリア・エネルギー・マネジメント・システムの略で、一定範囲のビル群の設備等を全体で運転管理することによってエネルギー消費量の削減を図るためのシステムのこと。



河川水を利用した地域冷暖房施設



環境先進都市に向けた4つのモデルエリアでの実践

夢洲・咲洲地区

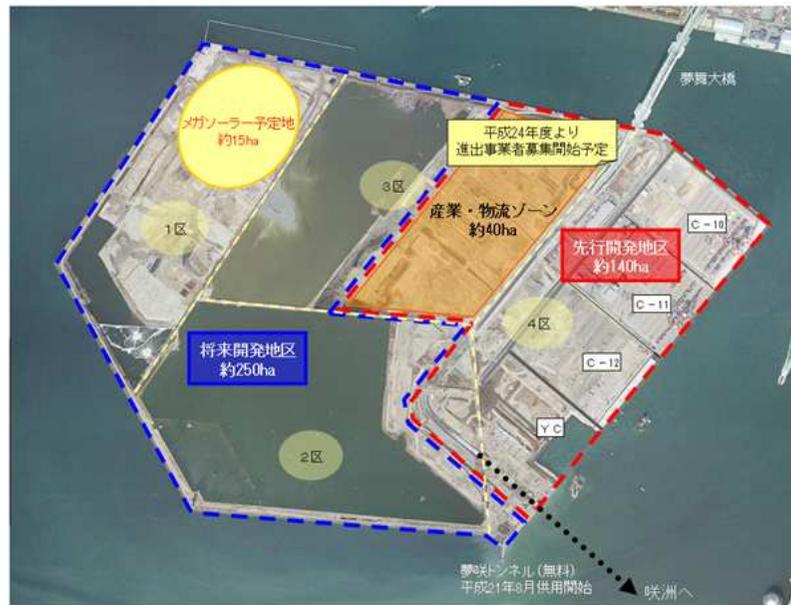
- 環境・エネルギー産業の集積をめざしたまちづくり -

夢洲・咲洲地区は、関西の強みであり、さらなる成長が期待される環境・エネルギー産業分野の実践エリアとして、「環境先進都市大阪」のモデルとなるような「グリーン・テクノロジー・アイランド（環境技術島）」の形成をめざし、日本の産業をリードする環境技術や新エネルギー産業の生産施設等の集積を図る。

【具体的な取組み】

- ・夢洲におけるメガソーラーの設置
- ・電力の効率的利用、熱や未利用エネルギーも含めたエネルギーの面的利用、太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用拡大の検討
- ・二次電池産業をはじめとする環境・エネルギー産業の生産拠点や研究施設などの立地を促進
- ・咲洲地区に「スマートコミュニティ実証実験モデル街区」をつくり、環境未来型の生活を具現化するまち（未来都市）の実証実験の舞台として提供（太陽光発電や二次電池、省エネ家電などを活用したスマートハウスやスマートグリッド、ロボットテクノロジー、EV等による移動、など）
- ・新技術をグリーンエコプラザなどで紹介・展示する「見える化」、環境施設をめぐるエコビジネスツアーの推進

夢洲地区



咲洲地区

